



# 交通安全の価値を考える



小林 眞

愛知県春日井警察署長等を歴任し、平成28年より「AAKK」専務理事。  
「安全運転を習慣とすること、そのための努力を惜しまないこと」を提案している。

第35回

## 伝える力

交通安全の大切さ、安全運転の必要性は誰でも知っています。子供の頃から「交通事故に気をつけなさい」と教えられ、運転免許証を取得したときも、社会人になってからも「交通ルールを守ろう」「交通事故防止に努めなさい」と教えられています。

つまり、安全運転管理者の方々が行う交通安全教育とは、誰もが知っていることを伝えるという、とても難しい課題のことなのです。

「交通事故が多発しているから気をつけてください」という言葉をよく耳にしますが、それを聞いても人の運転行動に変化は生まれません。また、「前をよく見て運転しなさい」と指示するだけで追突事故の減少を期待することはできないでしょう。

先に「教えることと学ぶこと」について書かせていただきましたが、では「伝えること」とは何か。それは、「価値観を共有すること」だと思っています。

追突事故を防ぐためには、前を見ない空白の時間帯をなくす方法と、何よりもその前提となる運転中の気持ちの問題に向けたメッセージが必要です。

周知の事実を伝達するだけでは、人の心理、その行動に変化を与えることはできません。

この課題を克服するために必要なもの、そのひとつが考え続けることだと思っています。考え続けることによって言葉が生まれ、それを伝えることによって交通事故防止についての新たな価値観を共有することが可能になるからです。

安全運転管理者はリーダーですから、それらの課題について自ら考え、そして自分だけが百歩先に進むのではなく、百人の仲間と共に新しい一歩を刻むことこそが重要です。

交通安全、安全運転という聞き慣れた言葉であるからこそ、そこに新たな価値を見つけ、共有することによって初めて従業員の運転行動に変化を与えることができます。

困難な課題に向けた取組みが人格の発現であるとすれば、安全運転、交通事故防止に向けた真摯な取組みは従業員の資質の向上につながり、事業所(会社)としての組織力の向上をもたらすことになるかと確信しています。

弊誌でも人気の当コラムが小冊子になりました。

交通事故をなくすため、安全運転の習慣化を図るためのヒントが、ここにあります。

現代を生きるドライバーに求められているのは、  
これまで以上の安全意識である！

小林 眞 著 交通安全の価値を考える

商品 No: 6819 B5判・24頁・表紙カラー・本文2色刷 本体価格198円(送料別)

●お申込みは、ホームページまたは40頁の申込書をご利用ください。

交通安全の  
価値を考える

小林 眞  
Masahiko Kobayashi

